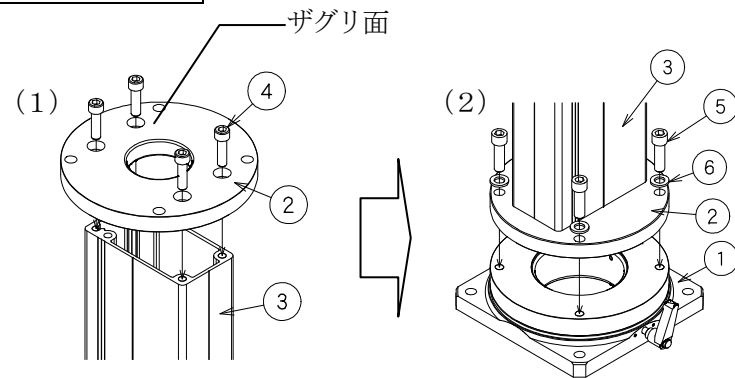


このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は安全にご使用いただくための内容を示しています。ご使用前に必ずお読み下さい。また、お読みになった後はいつでも見られるところに保管してください。

【組立方法】

ターンマウントLL

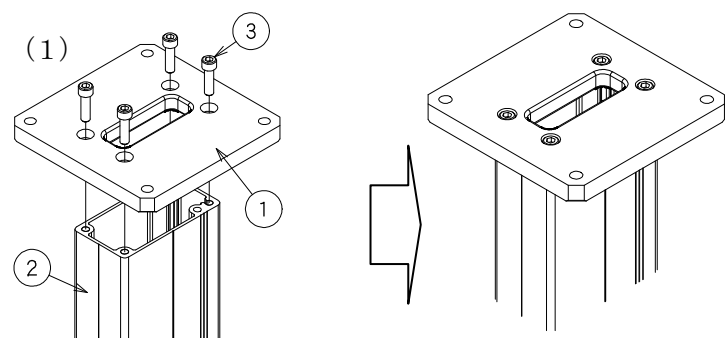


<ターンマウントLL構成部品>

- ① ターンマウント本体
- ② トッププレート
- ③ ダクトLL
- ④ 六角穴付ボルト M10x35
- ⑤ 六角穴付ボルト M12x40
- ⑥ 小径ワッシャー M12

- (1) ダクトフレームの端面にトッププレートのザグリ面を上にして六角穴付ボルト M10x35にて締め付ける。
(推奨締付トルク:24.5N・m)
- (2) ターンマウント本体に(1)にて組み立てたトッププレートを取り付け、六角穴付ボルト M12x40+小径ワッシャーM12にて締め付ける。(推奨締付トルク:42N・m)

フィクスマウントLL

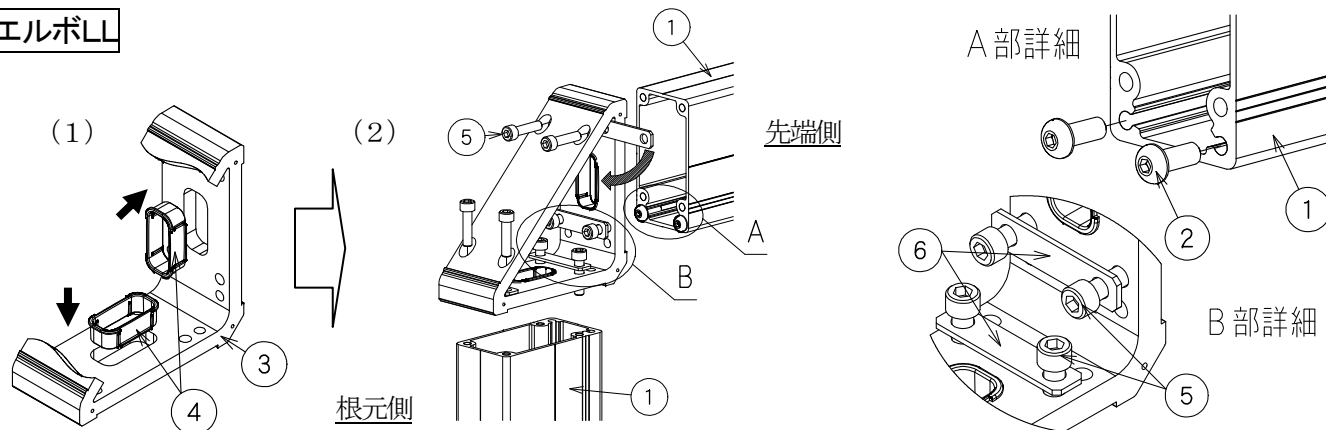


<フィクスマウントLL構成部品>

- ① フィクスマウントLL
- ② ダクトLL
- ③ 六角穴付ボルト M10x35

- (1) ダクトフレームの端面にフィクスマウントLLのザグリ面を上にして六角穴付ボルト M10x35にて締め付ける。
(推奨締付トルク:24.5N・m)

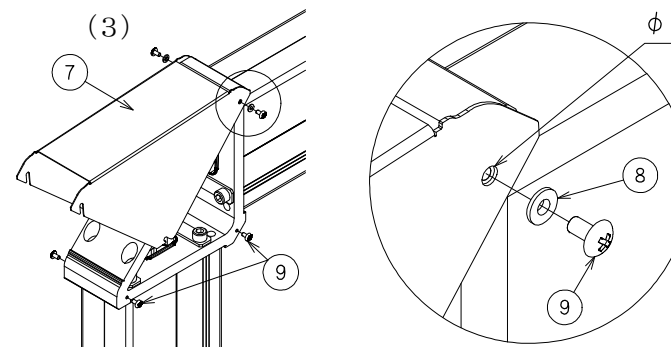
エルボLL



<レデューサーエルボ構成部品>

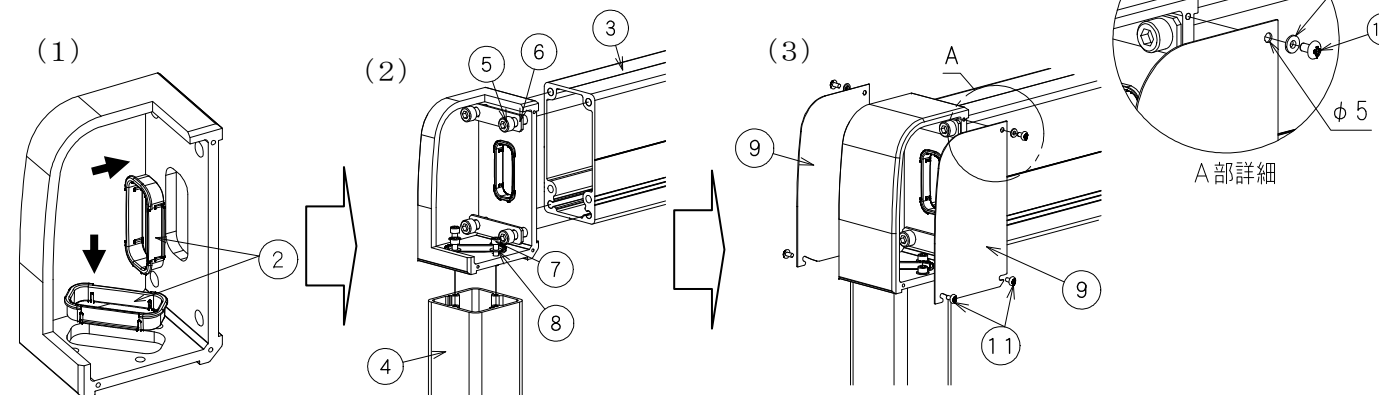
- ① レデューサーエルボ本体
- ② レデューサーエルボ用配線ブッシュ
- ③ ダクトLL
- ④ ダクトL
- ⑤ 六角穴付ボルト M10x35
- ⑥ 長方形座金
- ⑦ 六角穴付ボルト M6x25
- ⑧ 平ワッシャー M6
- ⑨ レデューサーエルボカバー
- ⑩ ジュラコンブッシュ
- ⑪ 十字穴付トラス M4x8

- (1) エルボLLの角穴部に配線ブッシュを内側から挿し込み、爪がかかるまで押し込む。
- (2) ダクト端面にたわみ調節用の六角穴付ボタンボルトを最後まで締め込む。次にエルボ内側から長方形座金を入れて六角穴付ボルト M10x40にてダクトを取り付ける。(推奨締付トルク:24.5N・m)
上側の長方形座金取り付けは、片側にネジを通して回転させもう一方を取り付けると作業しやすいです。



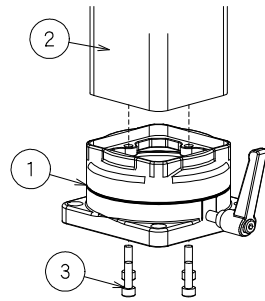
- (3) エルボカバーのφ5穴部にジュラコンブッシュを挿し込み、十字穴付トラスネジで締め付ける。(反対側も)
※φ5穴以外の切り欠き穴部はトラスネジのみです。(ジュラコンブッシュは不要)

レデューサーエルボLL



- (1) エルボ同様に角穴部に内側から配線保護ブッシュを爪がかかるまで押し込む。
- (2) LL側はエルボ内側から長方形座金を間に入れて六角穴付ボルト M10x35にて締め付ける。(推奨締付トルク:24.5N・m)
L側は平ワッシャーM6を六角穴付ボルト M6x25に取り付けて締め付ける。
(推奨締付トルク:5.2N・m)
- (3) レデューサーエルボカバーのφ5の穴にジュラコンブッシュを取り付け、レデューサーエルボ本体にトラスネジで固定する。

ターンマウントL



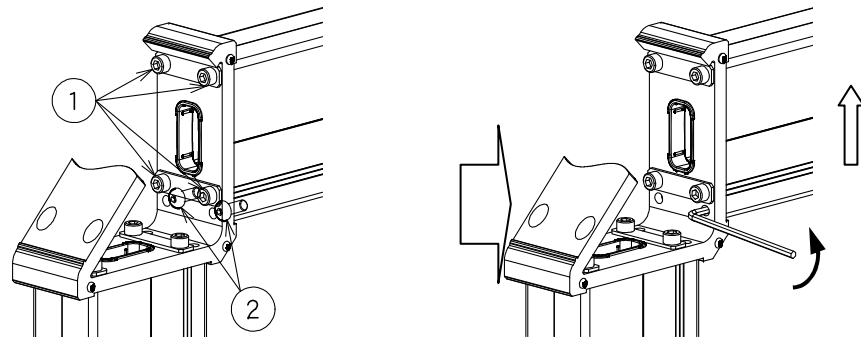
- (1) ダクトLの先端にターンマウントLを六角穴付ボルトM6にて取り付ける。
(推奨締付トルク: 5. 2N・m)

<構成部品>

- ① ターンマウントL
- ② ダクトL
- ③ 六角穴付ボルト M6x22

たわみ調整方法

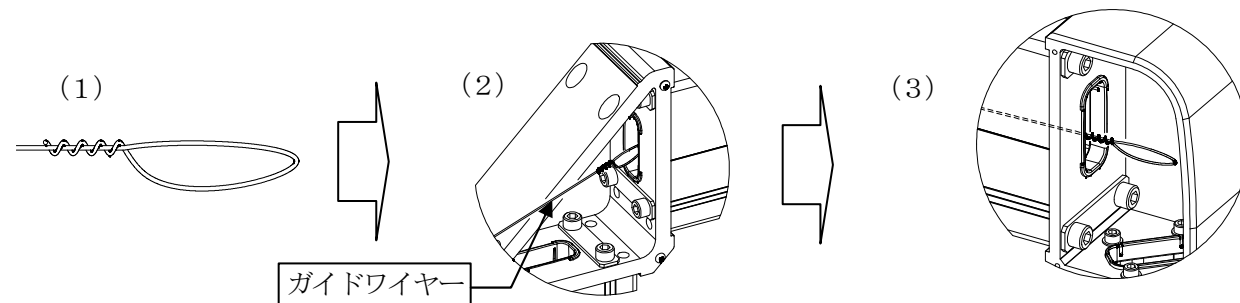
アームが張り出し方向に傾斜している場合は以下の方法にて補正ができます。
※先端に荷重がかかった状態では補正できません。補正時は荷重がかからない状態で行ってください。



- (1) ①のボルト4本を少し緩める。このとき下側のボルトは少し多めに緩めます。
- (2) 次に②の左右いずれかの調整ボルトを六角レンチ(6 mm)にて反時計回りに回すと、水平方向のフレームが持ち上がり傾きが補正されます。
※ 調整代が足りなくなったら①の上側ボルトを少しに緩めて調整してください。
- (3) 片側の調整が終わったら、①のボルトを軽く締め込み位置を仮固定します。
もう一方の調整ボルトも同じ高さになるように調整してください。
- (4) 調整が①のボルトを本締めする。

通線用アルミガイドワイヤー使用の方法

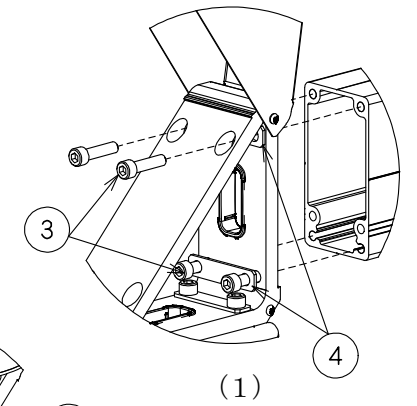
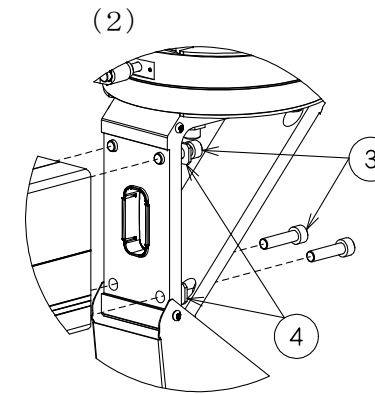
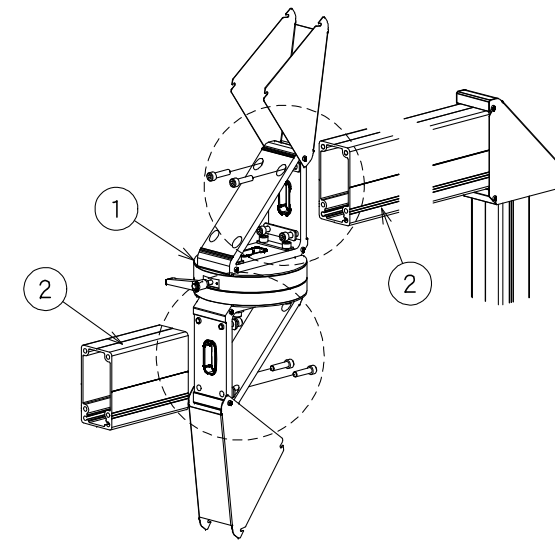
通線部が狭くなっているため通線用のガイドワイヤーを付属しております。使用方法は以下をご参照ください。
組立後も通すこともできますが、組立時にあらかじめガイドワイヤーを通しておくと楽に作業が行えます。



<使用手順>

- (1) ガイドワイヤーの先端に輪を作る。
- (2) エルボLLの配線穴から挿し込み、先端側のジョイントに突き当たるまでワイヤーを送り出す。
- (3) 突き当たったら配線口からガイドワイヤーの先端を引っ張り出す。
- (4) ガイドワイヤーに通線ワイヤー又はケーブルを縛り引き出す。

フォールディングジョイントLL



- (1) フォールディングジョイントLLを根元側のダクトLLに六角穴付ボルトM10(+長方形座金)にて取り付ける。
- (2) 同様に先端側のダクトをフォールディングジョイントに取り付ける。
- (3) 以降のレデューサーエルボ取り付け手順は前項を参照してください。

<構成部品>

- ① フォールディングジョイントLL
- ② ダクトLL
- ③ 六角穴付ボルトM10x40
- ④ 長方形座金

◎ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。



注意

- 設置作業は2人以上で行い、確実に保持して取り付けしてください。重量物が落下してけがの原因となります。
- ジョイントとフレームの連結部のネジは緩みがないよう、しっかりと締め付けてください。ネジが緩んでいると落下してけがや機器の破損やけがの原因となります。
- 設置直後の初期ゆるみや経年変化・振動などでボルトの軸力が低下することがあります。定期的な点検と増し締めを行ってください。
- 使用中にネジの緩みによるガタツキが生じた場合は締め直してください。締め直してガタツキが直らない場合は使用を中止してください。そのまま使用しますと変形や脱落の原因となります。
- ぶら下がる等過度なモーメント荷重がかからないようにご使用ください。破損・落下してけがの原因となります。
- クランプレバーでブレーキをしたまま過度な回転荷重をかけないでください。回転部が破損する恐れがあります。

SUS 株式会社

〒439-0037 静岡県菊川市西方53

TEL. 0537-28-8700 FAX. 0537-28-8714

scu-sales@sus.co.jp

Snets 営業

www.sus.co.jp

ML48-19-0